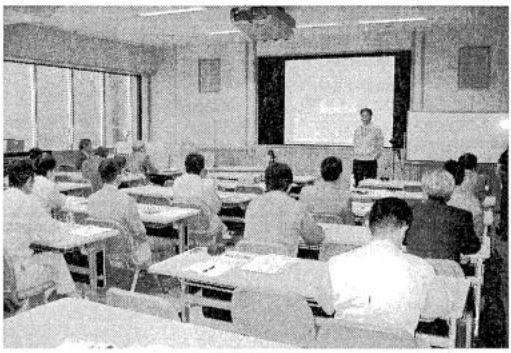
福井県コンクリート診断士会

診断技術の向上図る

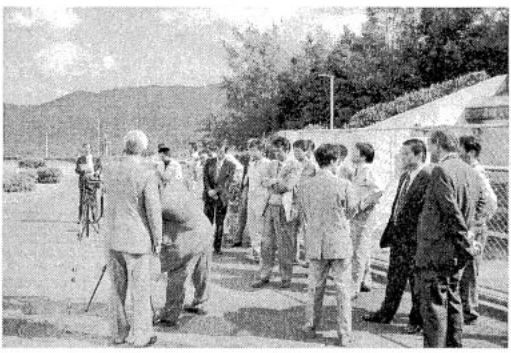
官庁等多方面にPR

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長＝福井宇部生コンクリート）は県内のコンクリート診断士有資格者によって平成十六年三月に設立された。同会はコンクリート診断士の社会的地位の向上、会員のコンクリート診断技術の向上と技術の発展に寄与するため、同会のPRのほか、コンクリート劣化現場の見学、非破壊検査の実習、診断報告書の作成手順などの研修会を行ってきた。

PR活動では、リーフレットを作成し、官公庁や各機関、団体へ配布し存在価値を高めてきた。こうした活動を通じて、同会の社会的地位の向上はもとより、他の都道府県の診断士会の設立も促した。また、診断技術の高度化に対応した研修会を実施することで、有資格者の技術力を維持してきた。今回は十月二十七日に若狭湾エネルギー研修センターで開かれた非破壊検査研修会IT編を紹介する。同研修会は赤外線法やデジタルカメラなど非破壊検査の先端技術を学ぶのが目的。コンクリート構造物の調査、診断会社の三協の佐藤登社長、日本アビオニクス販売の高橋勲営業部長、ニコンシステムの小出博部長が講演した。講演後、非破壊検査の実地検査を行った。



研修会会場



実地研修

先端技術を実地見学

非破壊検査で研修会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は十月二十七日、若狭湾エネルギー研究センターで「非破壊検査研修会～IT編～」を開いた。

開会のあいさつにたった石川会長は「この会も設立後一年六か月たった。この間他県でも診断士会が設立され、そのなかの一つである島根県コンクリート診断士会の伊田会長と幸前事務局長がこの研修会に参加される。来月には関東圏を網羅する診断士会が設立されると聞いている。今後、これらともいろいろな連携をしていきたい」と述べた。

島根県コンクリート診断士会の井田会長は「当会は今年六月に設立したばかりで、四か月しかたっていない。これまでに石川会長にもいろいろアドバイスをもらっていたので、一度あいさつしたいと思っていたところ、このような会が催されるということで参加させてもらった」と述べた。

三協の佐藤社長が「土木構造物の調査事例」の題で講演した。同社は昭和五十六年設立のコンクリート構造物の調査、診断の専門会社で、日本のほか、タイやアフリカ、ベトナムなどでも調査実績がある。同社は東京大学生産技術研究所の魚本健人教授と「コンクリート構造物の非破壊検査に関する研究委員会」を立ち上げ、共同研究を行っている。

同社は現在、近未来型非破壊検査手法としてマルチスペクトル法を研究している。これで、コンクリート表面の化学物質分布状況の把握し、特に塩害環境下に立地する構造物に対して塩分の付着状況が画像として表示できるとした。また、コンクリートを加熱し、硬化コンクリートの水セメント比を推定する方法も研究しているとした。これにより、水セメント比が温度の上昇率、下降率に影響を及ぼしていることが認められているとした。

佐藤社長はこれまでの調査事例で発見したコンクリートの不具合を写真付きで紹介し、その際に使用した検査方法（超音波、赤外線、電磁波）でどのように検出したかを説明した。また、阪神高速から依頼があった高速道路の調査では、アスファルト舗装の滞水の事例や透過熱を利用したRC床版の測定事例を紹介した。今後の診断技術については「ハードの発展が目覚しい」とし、個人の診断技術のほか、ハード機材の進歩にも目を向けていくよう呼びかけた。

日本アビオニクス販売の高橋部長が「TVS－200」を利用した赤外線サーモグラフィー検査の方法を説明した。サーモグラフィー法は放射率と温度、撮影角度が重要であり、これらに留意して撮影するよう求めた。

ニコンシステムの小出部長がデジタル一眼レフカメラ「D70」と画像支援ソフト「GS－1」を使用した損傷記録調査について説明した。デジタルカメラを利用した非破壊検査について「撮影した画像は多様な診断方法と組み合わせ、展開できる」と述べた。

その後、アビオニクスのTVS－200とニコンのD70を用いて同センター施設内で非破壊検査の実地検査を行った。参加者はひび割れの原因やソフトの使用方法などについて実習した。

同会の正会員は三十名（十七年七月一日現在）で、賛助会員は関組、飛島建設北陸支店、福井宇部生コンクリート、福井県生コンクリート工業組合、メンテナンス調査設計、ユーコンの六団体。

福井県コンクリート診断士会 これまでの活動の歩み

2004年3月・設立総会、第1回意見交換会
7月・コンクリート構造物の劣化現象の説明会、第2回意見交換会
12月・コンクリート構造物の非破壊検査研修会
2005年3月・コンクリート構造物の標準調査～診断報告書の作成手順とは～
4月・定期総会
7月・北陸自動車道親不知海岸高架橋上部工塩害対策工事見学会
10月・非破壊検査講習会（IT編）

来月に非破壊講習会

島根県コンクリート診断士会

島根県コンクリート診断士会（井田豊会長＝太陽建設コンサルタント）は、診断技術の向上、研究活動の推進を目的に今年六月十八日に十七名で発足した（現在は十九名）。

設立後、四か月しか経過していないが、すでに九月にはNAKIT（出雲高等技術校）で補修現場の見学、非破壊検査の講習会を行う予定で、シュミットハンマーや鉄筋の探査などの非破壊検査が計画されている。

また、来月八日には出雲市のナカサン生コン工場（出雲市）を訪れ、単位水量の測定などを見学した。